

# 自治体の「移住による経済波及効果」試算

(参考)

自治体名	経済波及効果	医療費などの 公的負担	推計 期間	前提条件
1. 北海道 ( )内は、最初の3 年間だけの効果	約5,700億円 (約800億円)	約1,200億円 (約55億円)	2007年 ↓ 2036年	2007年～2009年の3年間で計3,000世帯(毎年 1,000世帯) 高齢者無職世帯が60歳で移住する (平均余命(60歳時点)男性:22.21年、女性:27.47 年)
2. 和歌山県	約730億円	約150億円	2007年 ↓ 2036年	2007年～2009年の3年間で計500世帯(1,000人) の無職の団塊の世代が60歳で移住する (平均余命(60歳時点)男性:22.17年、女性:27.47 年)
3. 岩手県	約5,600億円	約330億円 (県・市町村公的負 担のみ試算)	2007年 ↓ 2036年	2007年～2016年の10年間で計5,000世帯(1万人) が移住する (60歳で移住し、85歳で死亡(26年間居住))
4. 徳島県	最大 約1,205億円 最小 約513億円	最大 約131億円 最小 約56億円	2007年 ↓ 2036年	団塊世代の最大1,184世帯(最小502世帯)が60 ～65歳で移住する(平均余命は、移住後の各年 齢別に算定)
5. 茨城県	約552億円 (移住分:約266億円、 交流・二地域居住分: 約286億円)	約12億円	2007年 ↓ 2036年	2007年から3年間に、計350世帯の60歳夫婦が週 二日間を過ごす交流・二地域居住を開始し、10 年後、その半数が移住する 同じく3年間に、計150世帯の60歳夫婦が移住 する(毎年1/3ずつ)

## 自治体の「移住」による経済波及効果」試算

## 移住・交流関係資料(総務省作成)

自治体名	経済波及効果	医療費などの 公的負担	推計 期間	前提条件	1世帯当り	1世帯当り 1世帯当り/年
1. 北海道 ( )内は、最初の3年 間だけの効果	約5,700億円 (約800億円)	約1,200億円 (約55億円)	2007年 ↓ 2036年	2007年～2009年の3年間で計3,000世帯(毎年1,000世帯) 高齢者無職世帯が60歳で移住する (平均余命(60歳時点)男性:22.21年、女性:27.47年)	122百万円	4.7百万円
2. 和歌山県	約730億円	約150億円	2007年 ↓ 2036年	2007年～2009年の3年間で計500世帯(1,000人)の 無職の団塊の世代が60歳で移住する (平均余命(60歳時点)男性:22.17年、女性:27.47年)	116百万円	3.9百万円
3. 岩手県	約5,600億円	約330億円 (県・市町村公的 負担のみ試算)	2007年 ↓ 2036年	2007年～2016年の10年間で計5,000世帯(1万人)が 移住する (60歳で移住し、85歳で死亡(26年間居住))	105百万円	3.5百万円
4. 徳島県	最大約1,205億円 最小約513億円	最大約131億円 最小約56億円	2007年 ↓ 2036年	団塊世代の最大1,184世帯(最小502世帯)が60～65 歳で移住する(平均余命は、移住後の各年齢別に算 定)	91百万円	3.0百万円
5. 茨城県	約552億円 (移住分:約266億円、 交流・二地域居住分: 約286億円)	約12億円	2007年 ↓ 2036年	2007年から3年間に、計350世帯の60歳夫婦が週二 日間を過ごす交流・二地域居住を開始し、10年後、 その半数が移住する 同じく3年間に、計150世帯の60歳夫婦が移住する (毎年1/3ずつ)	108百万円	3.6百万円

108百万円 3.7百万円

## 鳥取市の移住定住に関する主な取り組みについて

## 1. 相談支援窓口の設置

- (1) 目的 地域振興課内に移住定住（U J I ターン）に係る相談支援窓口を設置することにより、移住定住に関する情報の収集・発信の一元化を図り、特に若者や団塊の世代を中心に市域外から鳥取市への移住を促進する。
- (2) 窓口の名称 鳥取市定住促進・Uターン相談支援窓口  
フリーダイヤル：0120-567-464（専用電話）  
首都圏移住定住相談員 ☎ 080-2930-3958  
関西圏移住定住相談員 ☎ 080-2930-3959  
移住・交流情報ガーデン ☎ 0857-30-6631
- (3) 設置日 平成18年9月1日
- (4) 窓口の主な業務 ①情報（交流体験、住宅、就業等）の収集・管理業務  
②空き家（非居住住宅）の確保・紹介業務  
③窓口相談業務貢献  
④新規移住希望者の開拓  
⑤災害避難者受入相談
- (5) 相談員の配置 各種情報の収集・発信機能を強化するとともに、相談者へのきめ細かで親身になった対応をしていくため、平成18年12月から「定住促進・Uターン専任相談員」を1名配置。平成20年4月、平成23年4月、平成27年4月にはそれぞれ1名増員、平成30年4月には1名減員し、現在3名体制としている。併せて、平成24年12月から首都圏・関西圏にそれぞれ1名ずつの相談員を配置。また、平成28年1月10日からは移住・交流情報ガーデンを設置し、移住定住コンシェルジュを3名配置し、合計8名の相談員となっている。
- (6) 相談・移住の状況【平成30年3月末現在】

年度 区分	合計	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30
窓口対応延べ件数(件)	13,893	262	764	1,086	1,384	1,363	1,220	1,419	1,211	1,442	1,429	1,204	1,109	774
相談登録者数(世帯)	4,230	92	175	241	331	297	396	380	383	489	484	447	515	300
移住(世帯)	1,463	5	32	59	59	73	107	100	160	200	178	119	371	241
者数(人)	2,604	7	71	136	133	166	237	214	288	351	326	188	487	317

## (7) H30年度 月別 来所者数の状況「鳥取市移住・交流情報ガーデン」

年度	移住相談	市民	移住者	その他	来所者数(人)
H27年度	57	313	95	161	626
H28年度	161	943	452	342	1,898
H29年度	67	579	365	373	1,384
H30年度	85	464	333	229	1,111
合計	427	2,612	1,340	1,266	5,645

## 2. 空き家情報(平成31年1月31日現在)

U J I ターン希望者の移住を促進するため、空き家の情報を提供し、支援する。  
空き家登録数：20件（売買のみ2件、賃貸のみ9件、売買・賃貸9件）

## 3. 情報の発信

- (1) WEB：鳥取市公式ホームページ、鳥取市移住・交流情報ガーデンホームページ、首都圏・関西圏鳥取市移住定住相談窓口ホームページ、全国移住ナビ、SMOUT
- (2) 市報・支所だより、田舎暮らし専門誌等
- (3) 鳥取市定住促進パンフレット
- (4) 県外イベント  
ふるさと回帰フェア、鳥取県 I J U ターン相談会などに定住促進・Uターン相談支援窓口を開設。

## 4. 主な移住定住者への支援策

### 現在実施している支援策

#### (1) UJIターン希望者無料職業紹介（平成30年4月～）

これまで経済・雇用戦略課に配置していた無料職業紹介所の雇用アドバイザー業務を、平成30年度からは移住定住専任相談が行うこととし、就職相談のワンストップ化・スピード化を図っている。

#### (2) UJIターン者住宅利活用推進事業（平成27年4月～）

本市の空き家バンクに登録された物件を改修や家財道具を処分する者に対し、40万円を限度として補助。

（平成28年度実績 家財処分4件7人移住、平成29年度実績 家財処分4件11人移住）

#### (3) お試し定住体験事業（8棟。5日間までは一律7,500円、6日目以降は1日につき1,500円を加算）

移住を検討されている方に、体験施設（一戸建住宅）で鳥取暮らしを試していただく。

- ・ 中心市街地 ①ペット同伴可マンション1室（鳥取市本町）（平成28年1月～）
- ・ 福部地域 ②空き家提供住宅1棟（平成28年8月～）
- ・ 河原地域 ③空き家提供住宅1棟（平成29年1月～）
- ・ 用瀬地域 ④空き家提供住宅1棟（平成25年6月～）
- ・ 佐治地域 ⑤旧職員住宅1棟（平成19年6月～）
- ・ 気高地域 ⑥旧駐在所1棟（平成27年4月～）
- ・ 鹿野地域 ⑦・⑧湯川住宅団地・温泉付新築住宅2棟（平成22年4月～）

（平成28年度実績 ①～⑥）+平成28年度に廃止した鹿野地域の1施設 121組 延べ1,168日利用  
平成29年度実績 ①～⑥ 128組、延べ1,011日利用

#### (4) 移住定住空き家運営業務委託事業（平成25年6月～）

地元の団体に移住定住空き家運営管理を委託し、多くの空き家情報を収集。より早く的確な管理が可能となることで、移住定住者の増加を図る。また、地域総意での受入が可能となり、移住定住後の安全安心な生活の確保がおおいに期待できる。現在、河原（西郷地区）・用瀬（用瀬地区）・佐治・鹿野・気高（逢坂地区）・青谷地域で取り組んでいる。

（平成28年度 新規登録15件 契約成立14件 21名移住、  
平成29年度 新規登録19件 契約成立11件 24名移住、）

#### (7) Uターン支援登録制度（平成27年8月～）

登録いただいた方に、本市の「しごと」、「住まい」、「暮らし」等の最新情報を提供。

（平成28年度実績 延べ139件、平成29年度実績 延べ189件登録）

#### (9) ふるさと鳥取市・回帰戦略連絡会（平成27年10月～）

特にUターンを促進するため官民連携による連絡会を発足。情報共有や新たな施策の検討を行う。

（平成28年度実績 連絡会を1回開催、平成29年度実績 連絡会2回、大阪で相談会を1回開催）

#### (10) 鳥取体験ガイド・ワーホリツアー（平成28年8月～）

住まい探し、仕事探し、子育て体験、観光、グルメ、体験、穴場スポットなどから好きなプランを選択し、ガーデンの移住定住コンシェルジュが2日間、現地を案内。

（平成28年度実績5組11名、平成29年度実績5組7名）

#### (11) 鳥取市避難者への住宅支援事業（平成28年11月～）

平成23年3月11日以降に発生した激甚災害により本市に避難された方が、本市に定住する目的で住宅の新築、購入、改修をされる場合、その費用の一部を補助。

（平成29年度実績3件5人定住、平成29年度実績1件4人定住）

#### (12) 鳥取市民間賃貸住宅等家賃支援事業補助金（平成30年7月～） **新規**

県外から市内の民間賃貸住宅に入居した若者夫婦世帯（40歳未満の夫婦で子どものいない世帯）、子育て世帯（中学生までの子どもがいる世帯）に対し、家賃の一部を補助。

(13) 鳥取市Uターン者就職活動交通費支援事業補助金（平成30年7月～） **新規**

「鳥取市Uターン支援登録制度」に登録された方が、鳥取市内で行う就職活動（採用試験、合同就職面接会、市内企業訪問）に要する交通費の一部を補助。

**★2019年版住みたい田舎ベストランキング3部門で1位受賞！総合部門で7年連続トップテン入り！**

（いなか暮らしに関心のある人のための専門誌である「(株)宝島社 田舎暮らしの本2019年2月号」）

第1回～7回 鳥取市総合部門ランキングの状況

2013年版 第1回 第2位  
2014年版 第2回 第8位  
2015年版 第3回 第2位  
2016年版 第4回 第9位  
2017年版 第5回 第1位  
2018年版 第6回 第4位  
**2019年版 第7回 第1位**

（宝島社『田舎暮らしの本』出典）

★ 部門別ランキング（大きなまち（人口10万人以上）部門）

- **若者世代が住みたい田舎部門** 第1位
- 子育て世代が住みたい田舎部門 第2位
- シニア世代が住みたい田舎部門 第6位
- **自然の恵み部門（新設）** 第1位

※2018年版以降は、大きなまち（人口10万人以上）グループでのランキング

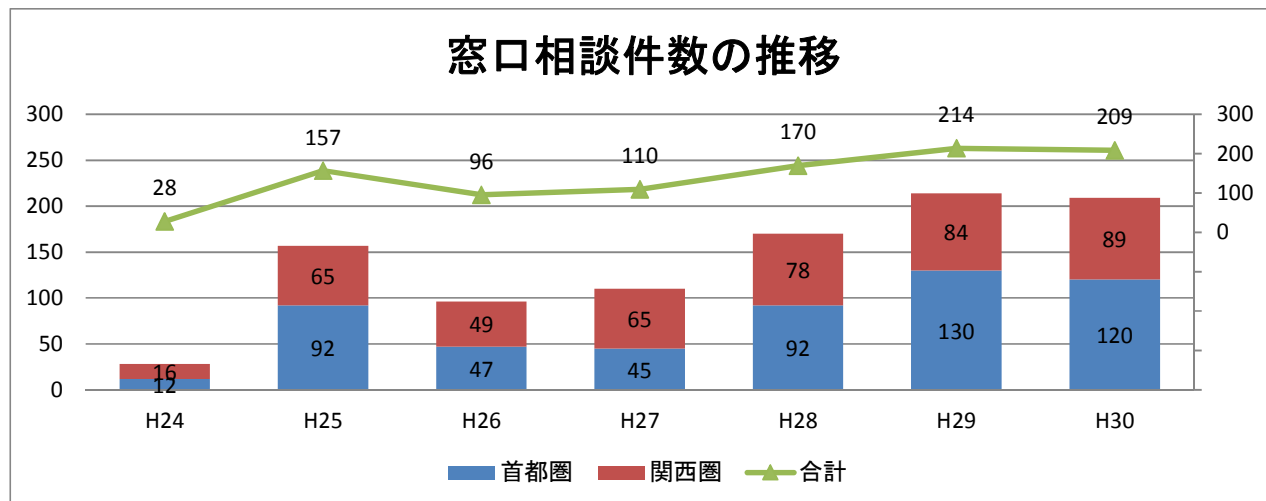
総合部門では、2年ぶり2度目の1位を受賞しました。鳥取市が複数の部門で1位を受賞したのは初めてです。

## 首都圏・関西圏移住定住相談員実績

地域振興課

平成31年2月9日現在

項目	地区	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	計
窓口相談件数	首都圏	12	92	47	45	92	130	120	538
	関西圏	16	65	49	65	78	84	89	446
	合計	28	157	96	110	170	214	209	984



## 平成30年度 県外イベント予定表

	月日	開催都市	イベント名	H30来場者数				職員	相談員	アドバイザー
				全体来場組数	全体来場者数	本市相談組数	本市相談者数			
1	4/11(水)	東京	平日ナイター相談会	2	4	1	1	0	1	0
2	4/21(土)	大阪	鳥取来楽暮カフェ	9	12	3	5	0	1	1
3	4/21(土)	東京	とっとり移住休日相談会	9	12	3	3	0	1	0
4	5/9(水)	東京	平日ナイター相談会	0	0	0	0	0	1	0
5	5/19(土)	東京	住む・働く・鳥取県 移住フェア	38	48	12	12	0	3	1
6	5/26(土)	大阪	鳥取市ミニ相談会	2	2	2	2	0	1	0
7	6/4(月)	大阪	就職博	不明	不明	6	6	0	1	0
8	6/6(水)	東京	平日ナイター相談会	2	2	1	1		0	0
9	6/10(日)	大阪	住む・働く・鳥取県 移住フェア	67	108	14	14	0	3	1
10	6/23(土)	東京	とっとりおかやま相談会(東京)	7	7	3	3	0	1	0
11	7/18(水)	東京	平日ナイター相談会	4	5	2	3		0	0
12	7/22(日)	東京	とっとり移住休日相談会	5	5	2	2	0	1	0
13	7/28(土)	大阪	ふるさと回帰フェア	890	2,918	12	20	0	3	1
14	8/4(土)	大阪	鳥取市ミニ相談会	3	5	3	5	0	1	0
15	8/5(日)	東京	とっとり移住休日相談会	6	7	3	3	0	1	0
16	8/29(水)	東京	平日ナイター相談会	2	3	1	1	0	1	0
17	9/2(日)	大阪	朝日U・Iターン相談会	不明	不明	13	18	0	3	1
18	9/9(日)	東京	ふるさと回帰フェア	不明	20,686	10	15	0	3	1
19	9/12(水)	東京	平日ナイター相談会	4	4	3	3		0	0
20	9/15(土)	大阪	鳥取来楽暮カフェ	7	10	2	2	0	1	0
21	9/29(土)	東京	とっとり移住休日相談会	8	16	1	2	0	1	0
22	9/29(土)	大阪	中四国もつひとつひのふること探 しフェア	104	143	3	6	0	3	1
23	10/10(水)	東京	平日ナイター相談会	2	2	1	1		0	0
24	10/13(土)	大阪	すごい鳥取市移住相談会	12	16	12	16	3	3	1
25	10/20(土)	大阪	とっとり・たじまカフェ(大阪)	14	17	3	3	0	1	1
26	10/28(日)	東京	鳥取県IJUターンBIG相談会	90	129	15	15	0	3	1
27	11/3(土)	大阪	鳥取市ミニ相談会	1	1	1	1	0	1	0
28	11/10(土)	東京	とっとり移住休日相談会	17	17	1	1	0	1	0
29	11/17(土)	大阪	鳥取県IJUターンBIG相談会	97	119	10	10	0	3	1
30	12/5(水)	東京	平日ナイター相談会	3	3	1	1		0	0
31	12/8(土)	東京	とっとりおかやま相談会(東京)	13	20	1	1	0	1	0
32	12/15(土)	大阪	とっとりくるーと×鳥取来楽暮カ フェ	6	10	2	4	0	1	0
33	1/9(水)	東京	平日ナイター相談会	6	6	5	5		0	0
34	1/12(土)	大阪	すごい鳥取市移住相談会	5	5	5	5	3	3	1
35	1/19(土)	大阪	鳥取来楽暮カフェ	9	13	4	5	0	1	1
36	1/26(土)	東京	とっとり移住休日相談会	17	19	3	4	0	1	0
37	2/2(土)	大阪	鳥取市ミニ相談会	0	0	0	0	0	1	0
38	2/2(土)	東京	すもう鳥取市	75	75	75	75	2	2	2
39	2/6(水)	東京	平日ナイター相談会	4	4	4	4	0	0	0
40	2/9(土)	大阪	とっとりくるーと×鳥取来楽暮カ フェ	2	2	1	1	0	1	0
41	2/24(日)	東京	とっとり移住休日相談会	5	5	2	2	0	1	0
42	3月2日	大阪	鳥取市ミニ相談会	3	3	3	3	0	1	0
43	3/6(水)	東京	平日ナイター相談会	3	3	1	1	0	0	0
44	3/10(日)	東京	とっとり移住休日相談会	5	5	4	5	0	1	0
45	3/16(土)	大阪	鳥取来楽暮カフェ	11	12	2	2	0	1	1
	計			1,569	24,483	256	292	8	57	16

## 鳥取市移住・交流情報ガーデンに関するアンケート（結果）

2017. 5. 23

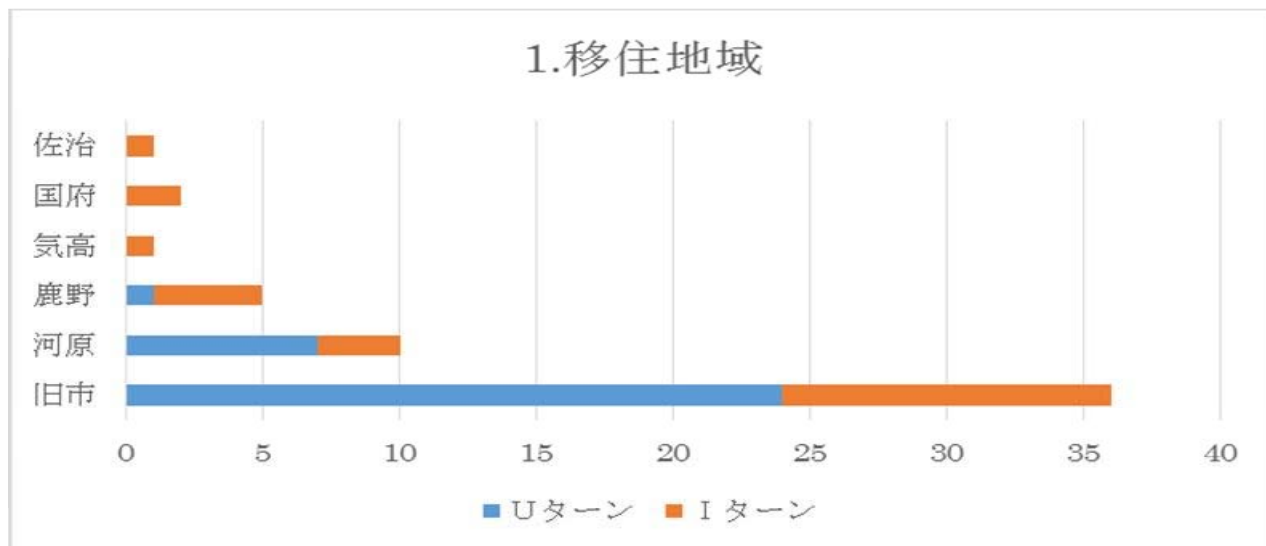
鳥取市移住・交流情報ガーデン

2017年2月、過去4年間に鳥取市地域振興課の定住支援Uターン支援窓口を通して移住定住した人450人を対象にアンケート調査を行った。郵送によりアンケート用紙を送付し、返送された60件について、分析を行った。

無記名、1家族1人による回答である。回答数が少ないことや、鳥取市の窓口を通じた家族だけを対象とした調査であり、あくまで傾向の参考とする範囲で活用すべきものであることを明記しておく。移住定住者の課題に対しては、個別具体的で丁寧な対応が必要とされるだろう。

## 1. お住まいの地域について

福部   国府   旧市内   用瀬   佐治   気高   鹿野   青谷   河原

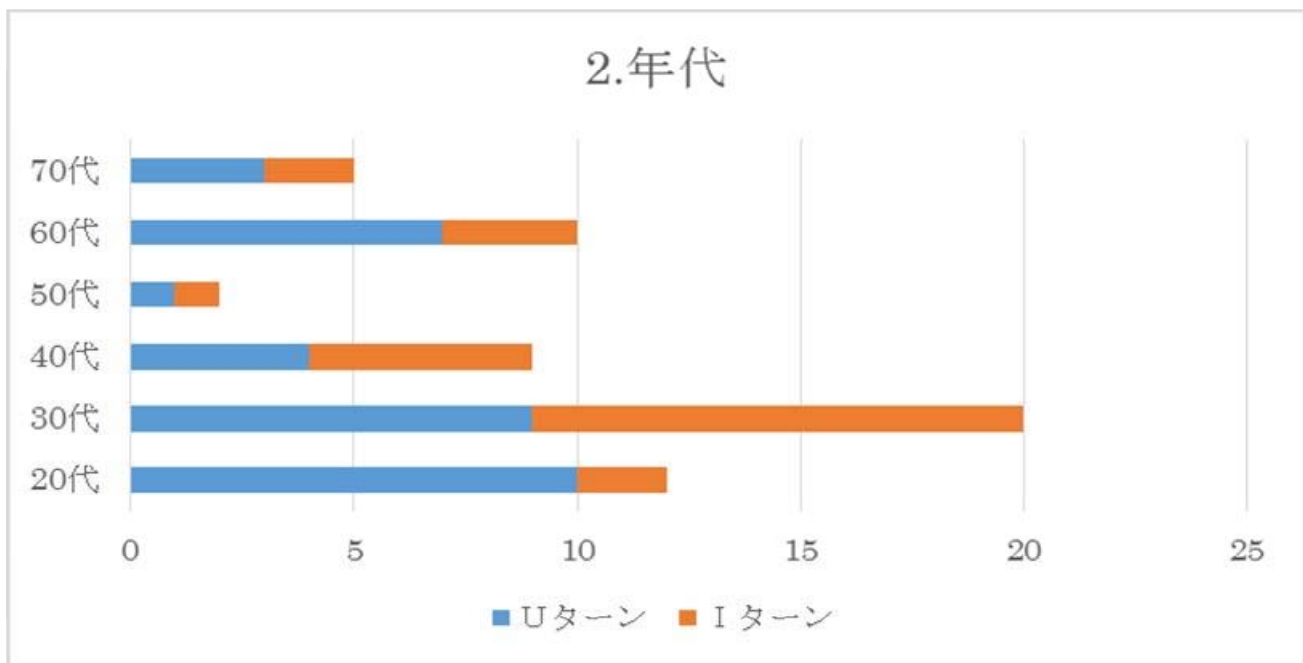


回答のあったなかで旧市が過半数を占めている。住まい、仕事などの受け入れキャパが反映しているとみられる。旧市町では、NPO等の地域団体が受け入れを促進しているところで移住が進んでいるが、中山間における移住者受け入れは貸し出し可能な空き家等の物量・人員・経費・システム・ノウハウの積み上げ等、簡単なことではないと思われる。

## 2. 年代について（アンケートの回答者）

20代   30代   40代   50代   60代   70代～

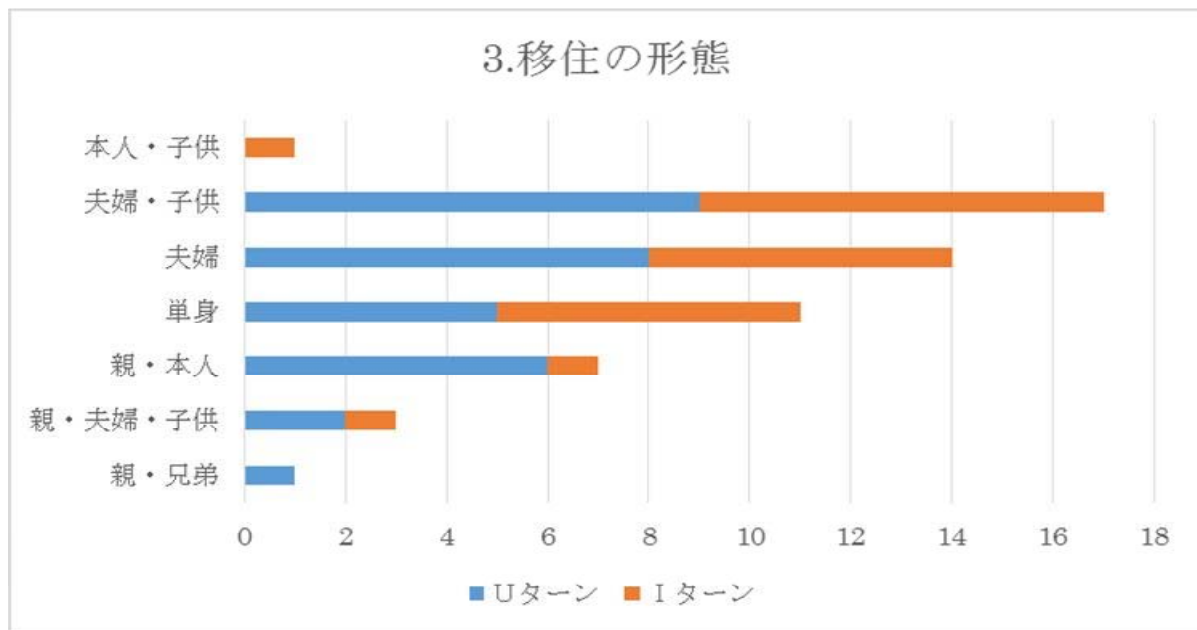




Uターン、Iターンともに、20代30代が合わせて半数以上となる。Uターンは20代、Iターンの場合は30代が最も多い。もっとも少ないのが50代である。それぞれのステージに合わせた受け入れ対応が必要だろう。

### 3. 現在の家族形態について

単身 夫婦 夫婦と子供 親と自分 親と夫婦と子供 兄弟姉妹 その他 ( )



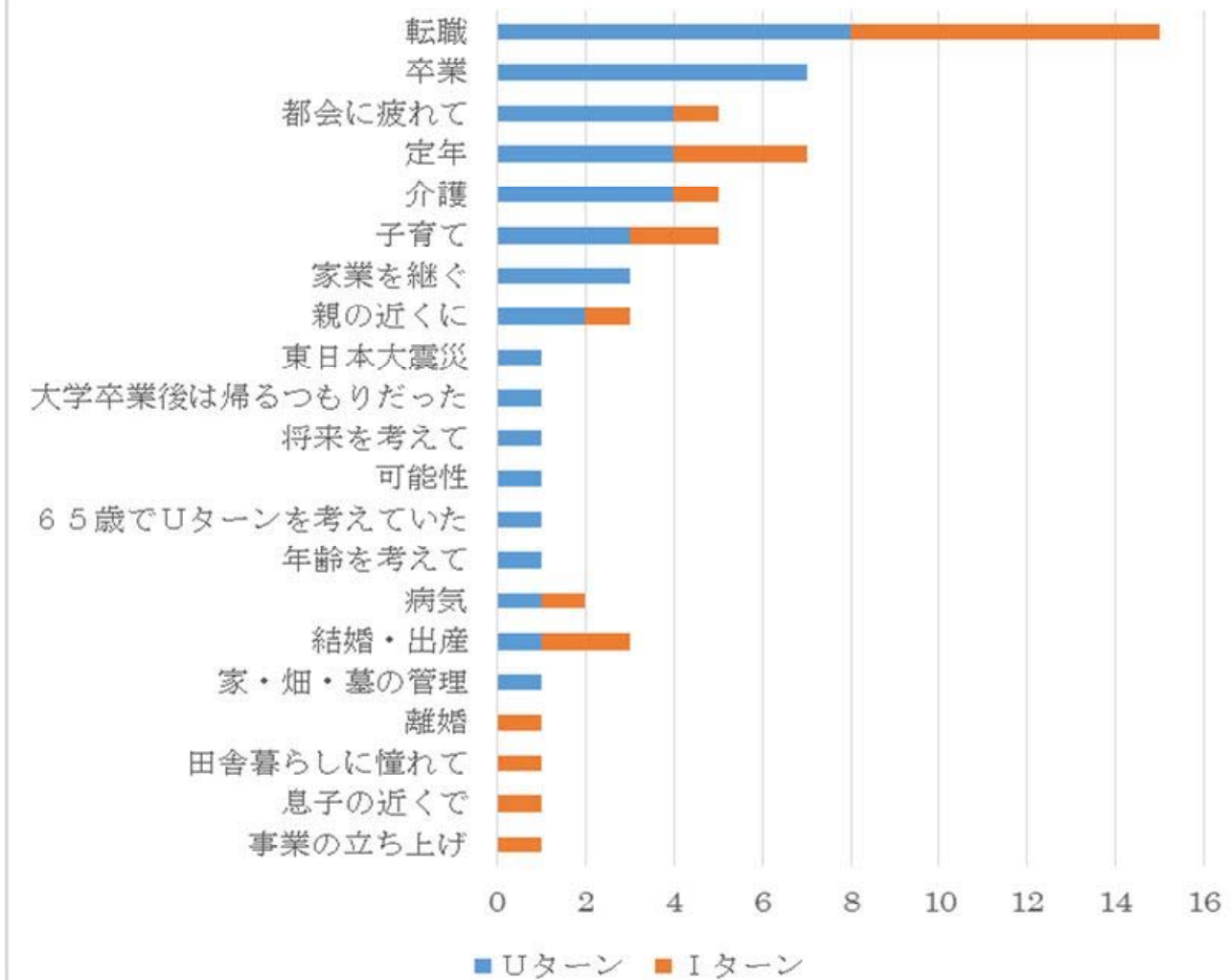
2の回答と照らし合わせると、20代30代で子供のある若い家族という一つの移住イメージが浮かび上がってくる。

### 4. 移住の形態について (アンケートの回答者)

Uターン Iターン 移住前の住所 ( ) 都道府県



## 5. 移住を考えたきっかけ

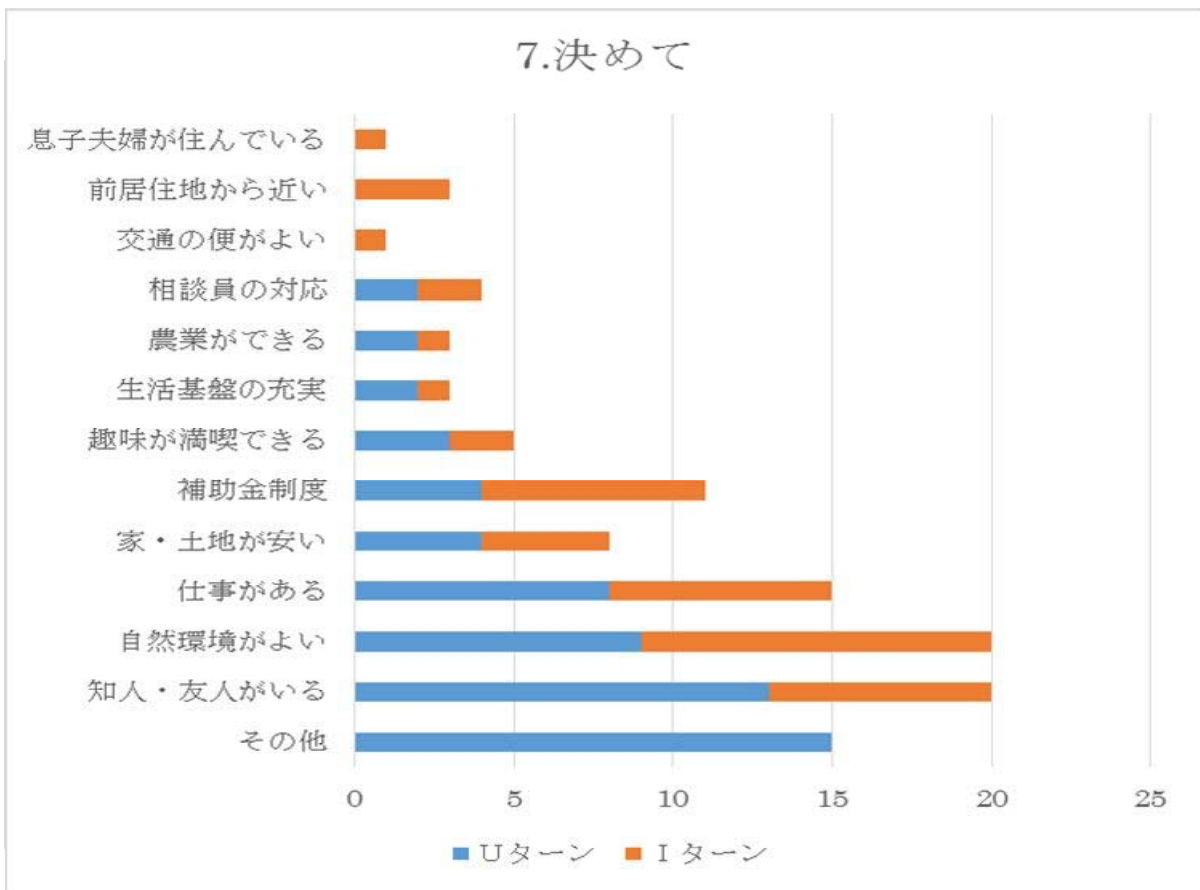


移住を考えたきっかけは、「転職」がトップである。詳細は不明であるが、仕事を最優先に、住む場所などの人生の選択をしていることがうかがえる。その他、卒業、定年、介護、子育てなどが転職となっているようである。それぞれのライフステージをイメージした受け入れ対応の準備が求められる。

## 6. 移住されるまでに鳥取市に関する情報はどこから得ましたか。(複数回答可)

- 本・テレビ・雑誌   
 旅行   
 知人が実践   
 セミナー・イベント  
ネット   
 行政等の相談窓口   
 その他





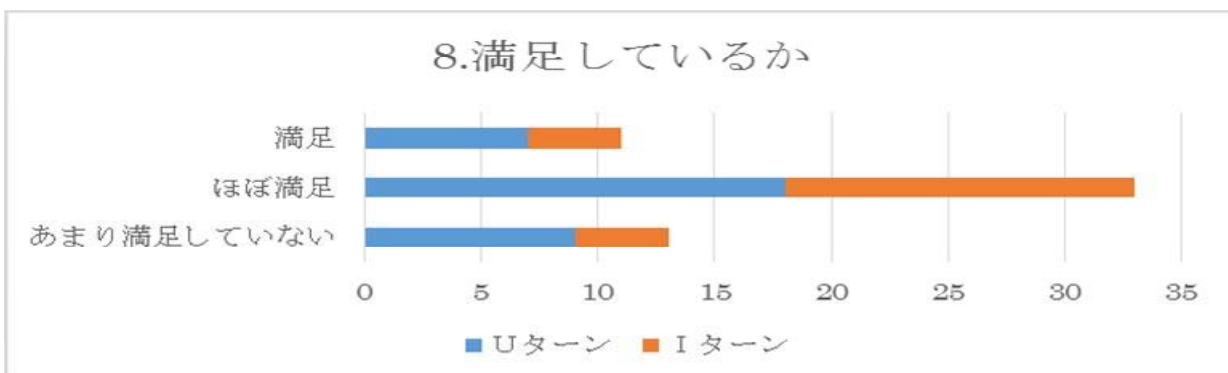
移住を思い立ち、情報を集め、情報収集の過程を経て、最終的に一つに絞って移住先を決めるわけだが、その時の決め手になるものを受け入れ側が把握しておくことが重要。

Uターンの場合、自分の意志による選択の前に、そもそもふるさととの関係、事情が前提としてあることが多く、親の介護、家・墓の継承等、既定路線とみられる回答が「その他」の内容として多かった。加えて、ふるさとでの人間関係（知人・友人がいる）ということがUターンにプラスに働くとみられる。条件のそろっているUターンにとって、「仕事がある」かないかは次の大きな決め手となっているだろう。

Iターンの場合、「自然環境のよさ」が決定的な決め手となっている。その上で「補助金等の支援」「仕事がある」「知人友人が住んでいる」など1つだけでなく、いろいろな条件を吟味した上で移住を決めているようである。

### 8. 移住後の生活に満足していますか。

満足している    ほぼ満足    あまり満足していない    不満



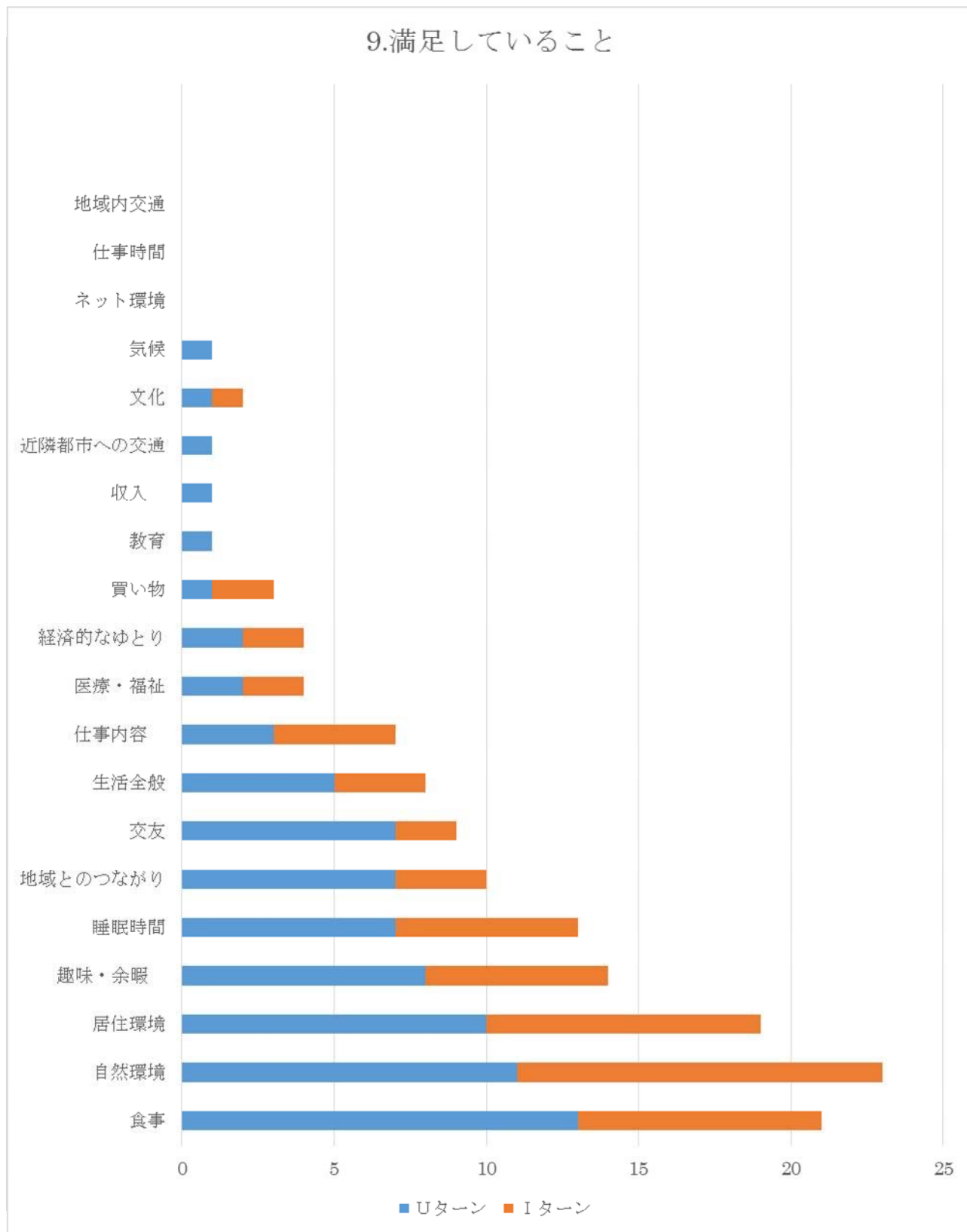
「ほぼ満足」が過半数を占める。「あまり満足していない」については、個別具体的に検討が必要と思われる。どのような人がどのようなことに満足しているのか、さらに重要なのは、どのような人がどのようなことに

不満を感じているのかの詳細をみて検証することが重要。移住支援施策の次のステップへの課題となるだろう。

9. 移住して満足していること（複数回答可）

- 食事    家族との時間    睡眠時間    居住環境    生活全般    地域とのつながり    ネット環境
- 買い物    仕事時間    趣味・余暇    仕事内容    教育    医療・福祉    地域内交通
- 収入    経済的なゆとり    近隣都市への交通    交友    文化    気候    自然環境
- その他、移住してよかったこと。（自由記入）

[ ]

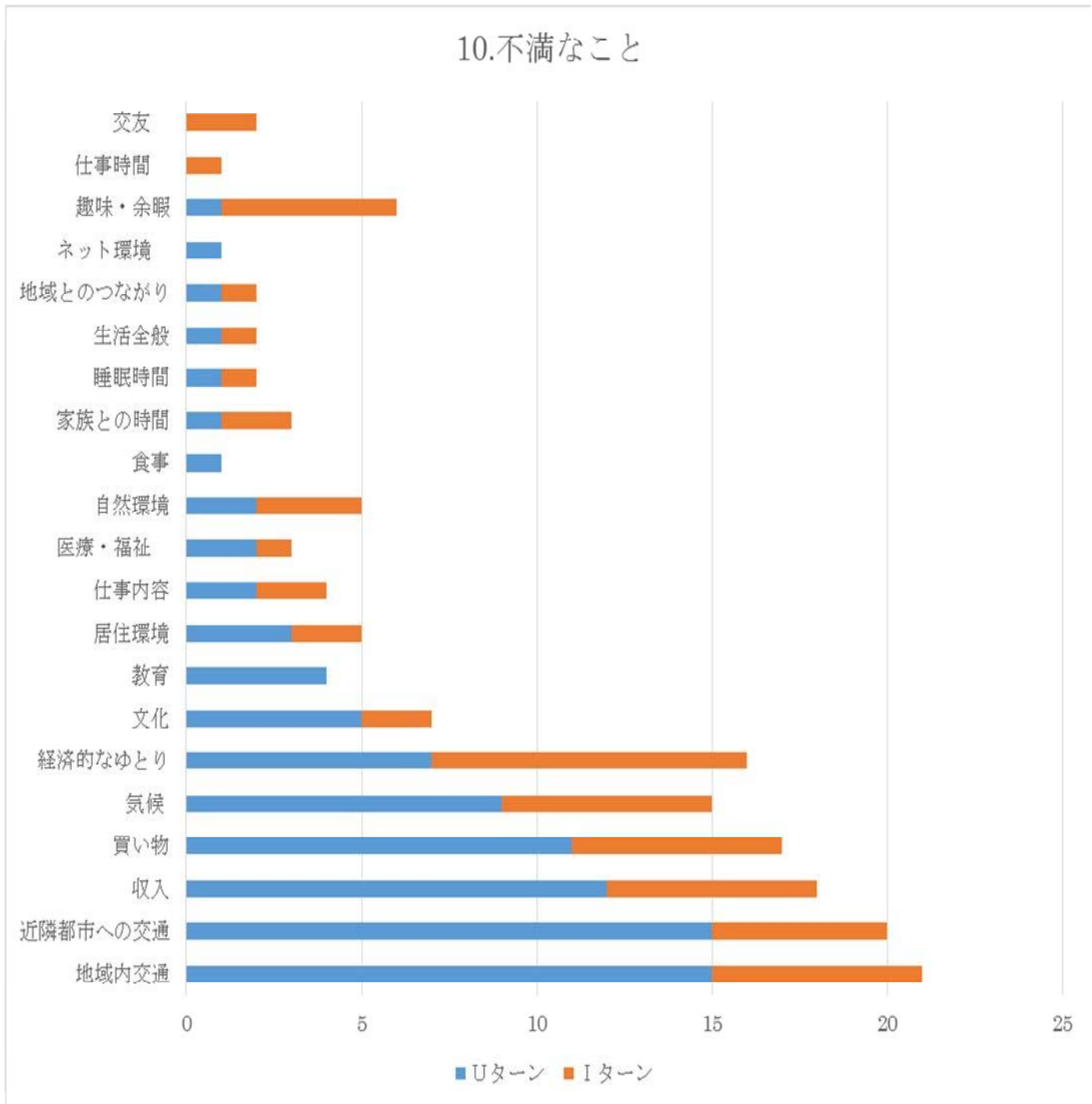


「食事」「自然環境」「居住環境」「趣味・余暇」等、都市生活では得られない「人間らしい」生活の要素に満

足度が高い。移住者の視点を積極的に取り入れることで、地域の価値の掘り起こしにつなげたい。

### 10. 移住して不満なこと（複数回答可）

- 食事    家族との時間    睡眠時間    居住環境    生活全般    地域とのつながり    ネット環境
- 買い物    仕事時間    趣味・余暇    仕事内容    教育    医療・福祉    地域内交通
- 収入    経済的なゆとり    近隣都市への交通    交友    文化    気候    自然環境
- その他、移住後の生活の中で困っていること    （自由記入）



不満なことの3本柱は、「交通」「収入」「買い物」となる。車を持つか持たないかが鳥取暮らしの大きな鍵になる。地域として公共交通機関をどうしていくのか、買い物難民をどうしていくか、また、カーシェアなどその他の選択肢等暮らし方の提案、また収入が減る場合のライフスタイルの提案など相談者に対応できるアドバイスを用意しておかなければならないだろう。

11. 鳥取暮らしのなかでやってみたいこと (自由記入)

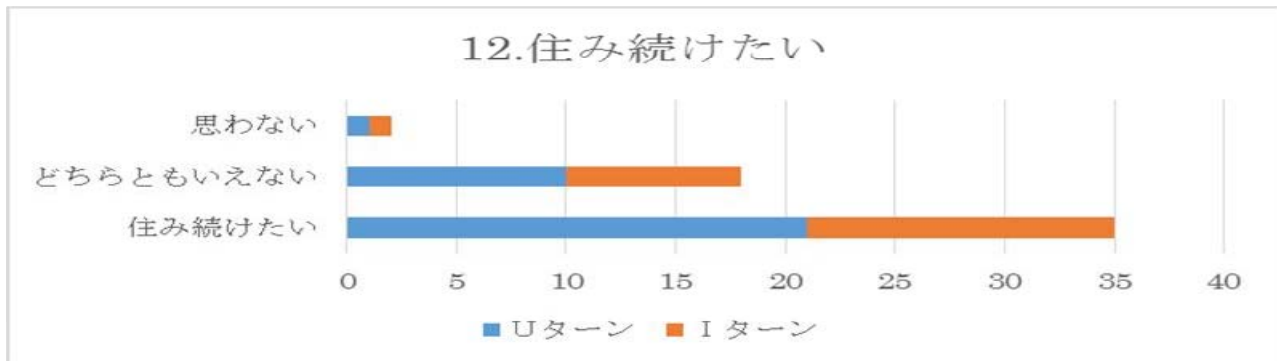
- ・子供を自然の中で遊ばせて、親しみを持ってほしい
- ・音楽、味噌づくり、服づくり、アウトドアライフ
- ・もっと旅行に行きたい。
- ・移住した人だけの交流会 (バスがある時間)、副業
- ・自然と一体になった活動
- ・もう少し緑の多いところに住みたい
- ・農業を少しずつでもやってみたい。
- ・農業 (家庭菜園)
- ・畑がほしい。農作物を作りたい。
- ・のんびり暮らしたい
- ・趣味を含め、のんびりと暮らしたい。
- ・ビジネス (移住者目線や意識をお活かせる仕事)
- ・狩猟、釣り、アウトドア、農地を借りて家庭菜園
- ・老後に農業
- ・蛍を見る。自然を満喫する。
- ・サイクリング、ハイキング、ラジコン飛行機
- ・野菜の栽培 (畑)
- ・パーマカルチャー、ゲストハウス、農業、漁、家づくり
- ・地域の活性化の役に立ちたい。
- ・趣味をみつけない

12. 今後も鳥取に住み続けたいですか。

住み続けたい     どちらともいえない     住み続けたいと思わない

理由 (

)

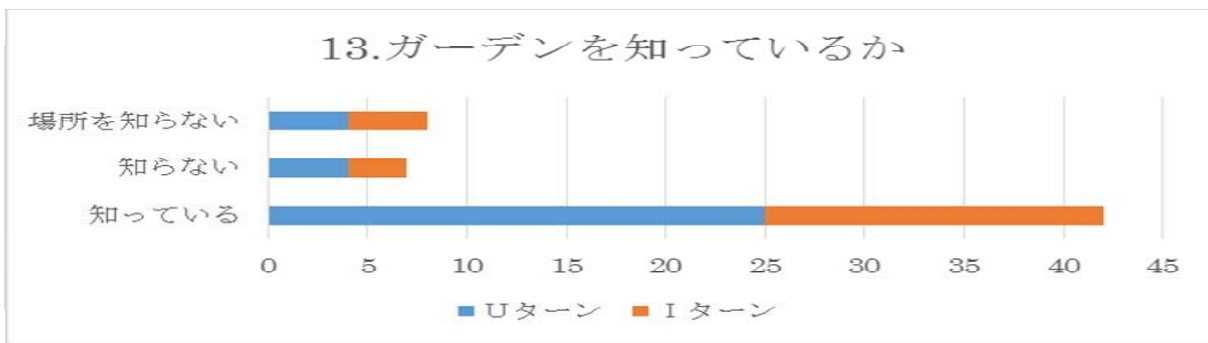


「今後住み続けたい」が過半数をしめるが、「どちらともいえない」、「住み続けたいと思わない」人の背景や事情を個別具体的に把握し、今後の課題としたい。

13. 「鳥取市移住・交流情報ガーデン」は、平成28年1月10日 (移住の日) に、移住者が気軽に集える相談、交流、情報発信の場としてオープンしました。ご存じでしたか。

知っている     場所は知らない     開設されたことを知らない

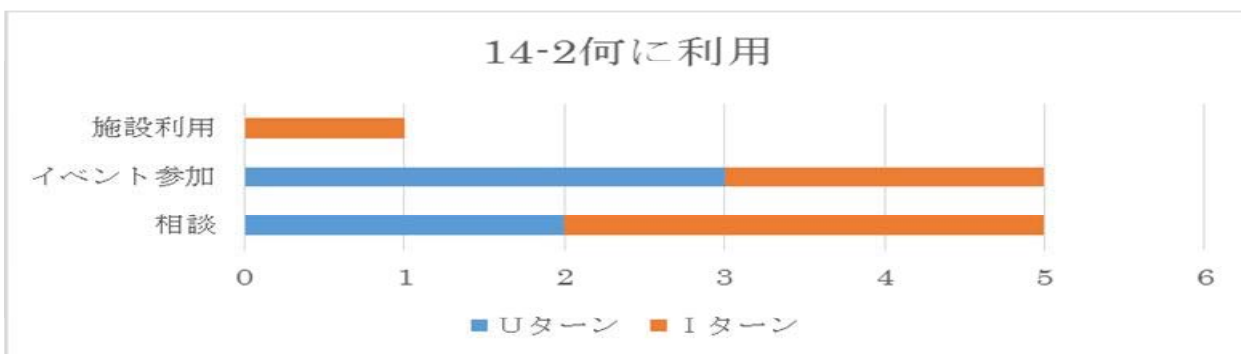
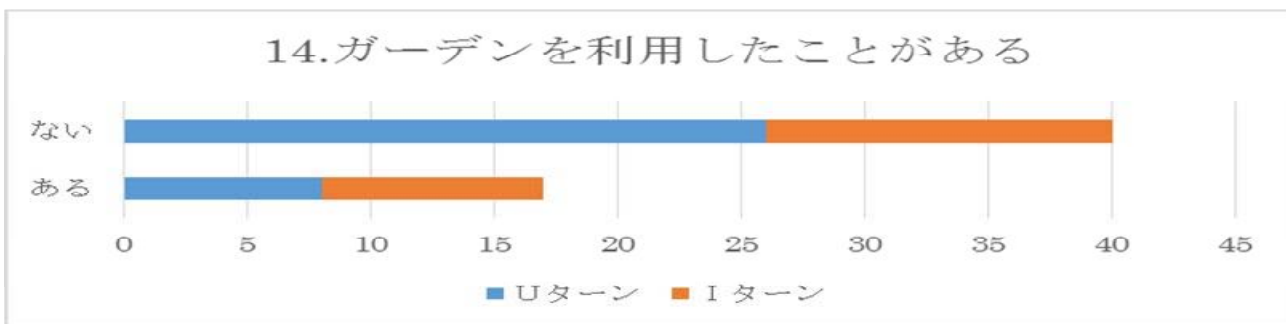




回答を送付した人の多くが知っているのは当然、ガーデンの2年目としては、どのような機能をもった施設で、何が提供され、どう利用できるのかを発信する必要がある。内容が問われている。

14. 「鳥取市移住・交流情報ガーデン」に来られたことはありますか？（複数回答可）

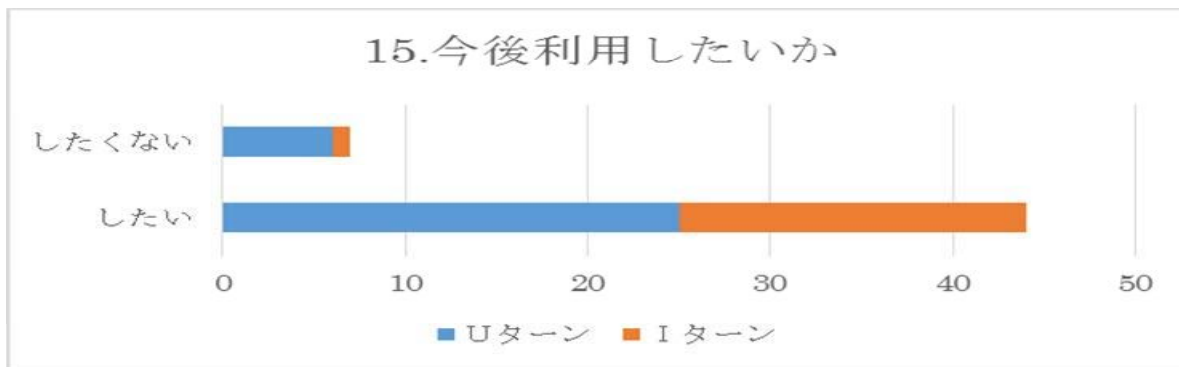
- ある（            ）回   相談   イベント参加   施設利用   その他（            ）  
ない



ガーデンを移住者や地域の人自身が主体的に企画したり、活動を紹介したり、生業づくりの取り組みをしたりでき、相互作用のおこる場にする方向で、魅力的な場にしていく段階にあるだろう。

15. 今後「鳥取市移住・交流情報ガーデン」を利用したいですか。（複数回答可）

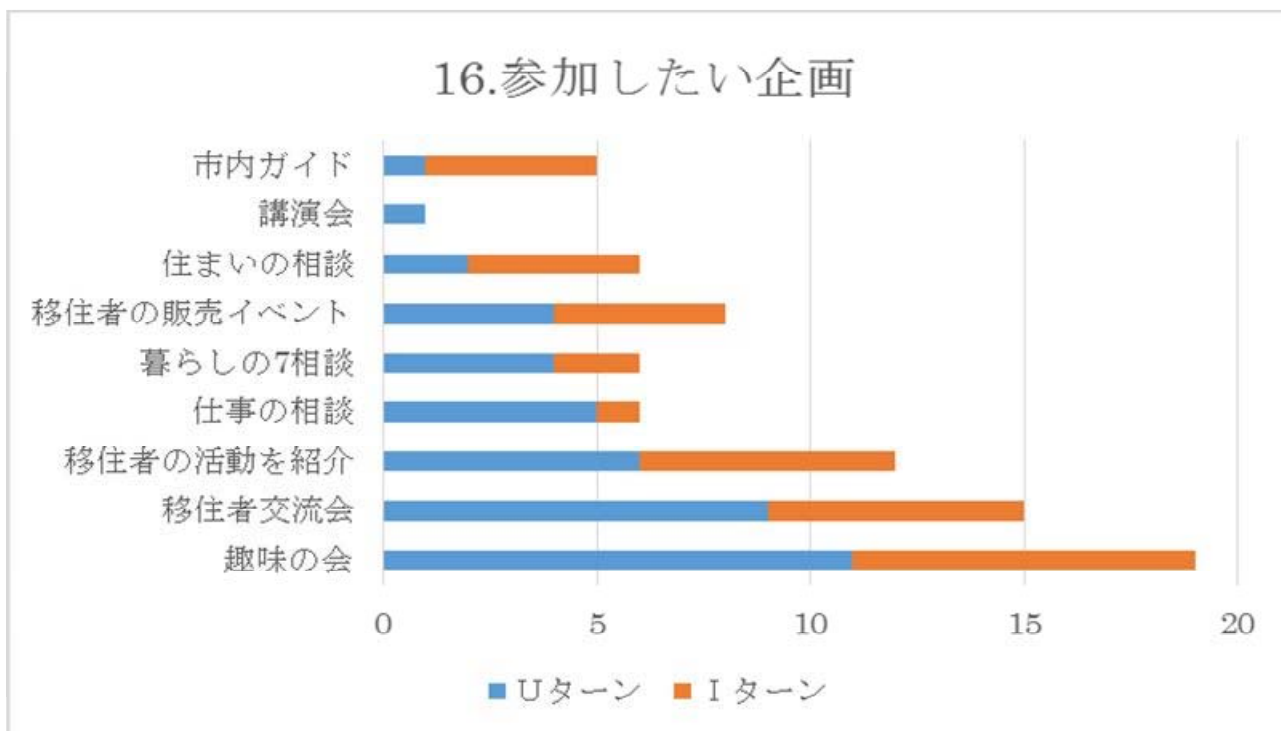
- 利用したい  
相談   イベント参加   ミーティングやワークショップ等の会場として施設利用   交流  
フリースペースとして   その他（            ）  
利用したくない  
理由（            ）



今回のアンケートに回答した人は450人中60人である。回答しなかった人たちも含め、わざわざ行ってみるだけの価値のある内容をもった場にするのが肝要。

16. どのような企画があれば参加したいですか。(複数回答可)

- 住まいの相談会   
  仕事の相談会   
  暮らしの相談会   
  移住者交流会   
  趣味の会  
 市内ガイド   
  移住者の活動を紹介する催し   
  移住者の販売イベント  
 その他



移住者の活動支援や地域の掘り起しなどを積極的に行い、人と情報が活発に行き来するような場づくりが求められてのではないかと。

17. 鳥取市移住・交流情報ガーデンに望むこと (自由記入)

- ・空き家がたくさんあるが、情報が入ってこない。今の学校校区で考えたがどこに相談するかもわからない。
- ・移住者交流と活動を定期的に発信
- ・移住者へのアフターケアを充実してほしい。
- ・興味を引く企画
- ・暮らしやすさから生きがいへ提案
- ・交流スペースを入口におき、中が見える様にして入りやすくすると利用率が増えると思います
- ・困った時の相談ができる場所であってほしい。

- ・参加者数、年齢層などが知りたい。
- ・市の移住担当の人と細かい情報が違う（奨励金の条件）
- ・若年層の交流、食事会（20～30代）
- ・相談が無い時は立ち寄りにくいので、気軽に参加できるイベント等の実施を希望。
- ・駐車場
- ・鳥取市の取組を教えて欲しい。
- ・年配者にも住みやすい何かを発信してほしい
- ・ビジネス（移住者目線や意識を活かせるビジネスモデルの確立、道筋をつけて欲しい）
- ・平日にもイベントを開催してほしい。
- ・もう少し若者向けのイベントがあれば嬉しいです。インスタグラムで発信しては？
- ・若い人が移住しても、暮らしていけるような活動を

情報収集・発信に努め、移住者・地域の人が気軽に利用できる場とするとともに、移住者や地域の人たちの気持ちや希望に添い、提案を活かしていくことが重要。

#### 18. 鳥取市のセールスポイントを教えてください。（自由記入）

- ・一生懸命さ
- ・美しい海、四季がはっきりしていて季節を楽しめる、美味しい海の幸
- ・海、山があるところ。食事が美味しい。適度になにもないところ。
- ・魚、野菜は新鮮で安い。空の色は都会より澄んできれい。都会よりのんびりした気分になる。
- ・魚がおいしい。河、大自然。
- ・自然
- ・自然が多い、温泉が多い、道路が整備されている、コンパクト、魚野菜肉もおいしい。
- ・自然が身近にあるので、季節を感じるができる。
- ・自然が豊か、でも雪には要注意
- ・自然が豊かで食べ物が美味しい。コンパクトなエリア内に病院、スーパーなどが多く、思っていたより便利。
- ・自然環境を大切に観光、食と楽しい鳥取
- ・自然の多さ
- ・児童の医療費が定額であること。
- ・食材が新鮮
- ・食材がよい、山、空気がよい、外遊びがいろいろできる。
- ・人口が少なく、どこへ行っても混雑していない、ゆとりがある。海、山も近く、アウトドアも食べ物も手軽に楽しめる。
- ・食べ物、空気が美味しく海が近い。
- ・食べ物が新鮮で美味しい
- ・鳥取大砂丘、海がきれい、食べ物が美味しい、温泉が多い、関西に出やすい。
- ・のんびり、土地が安い。
- ・人に優しい、食べ物がおいしい
- ・広すぎないので、市街地にも山、川、海にも行きやすく、渋滞も少ない。
- ・古き良き建物が残っている。人が良い。
- ・水がおいしく、食べ物が新鮮で美味しい
- ・野菜、果物等作物が多く作れる
- ・野菜、魚が新鮮でおいしい。
- ・家賃が安い、海が近い

移住者の目を今後の地域づくり、地域発信に活かしたい。

以上の結果から、主に次のことを踏まえて今後の活動を行っていく必要があると考える。

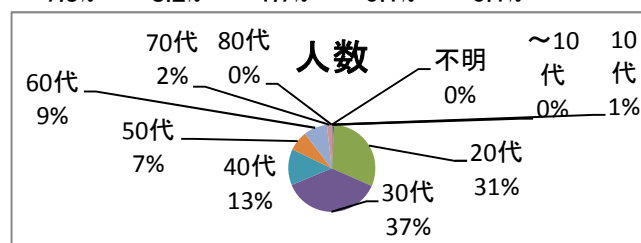
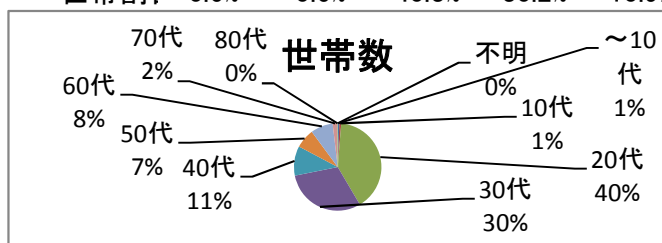
- ① 移住希望者、移住者、地域の人それぞれのニーズを丁寧に把握し、そのことに添う活動を考える。
- ② 地域の価値を掘り起し、情報発信する。
- ③ 移住希望者の欲しい情報を迅速に提供できる総合的な発信拠点となるために情報収集に努める。
- ④ 交流・連携の輪を広げる。
- ⑤ 移住者および地域の人たちが気軽に集え、利用できる雰囲気づくり。
- ⑥ 移住促進を含め地域づくりを話し合えるような場の提供。
- ⑦ 地域の価値を高めることにつながる活動。

移住者数(年代別)

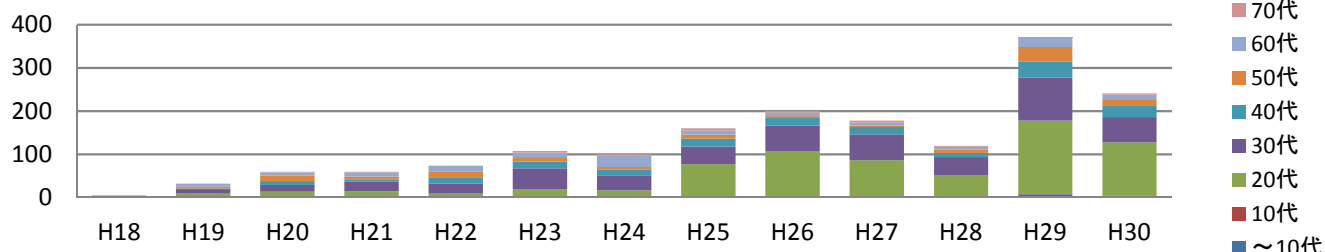
平成31年1月31日 現在

年度	区分	～10代	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代	不明	計
H18	世帯数			1	2		1		1			5
	人数			1	3		1		2			7
H19	世帯数			9	10	2	4	6	1			32
	人数			25	18	5	9	11	3			71
H20	世帯数			13	16	9	12	8	1			59
	人数			27	39	27	24	17	2			136
H21	世帯数			14	22	5	7	10	1			59
	人数			26	56	18	11	21	1			133
H22	世帯数		1	8	23	13	14	14				73
	人数		1	16	50	34	34	31				166
H23	世帯数		1	18	48	16	10	11	3			107
	人数		1	39	121	36	16	20	4			237
H24	世帯数		2	14	35	13	6	27	3			100
	人数		2	21	97	19	15	57	3			214
H25	世帯数		2	75	41	18	9	10	5			160
	人数		5	96	105	36	19	21	6			288
H26	世帯数		1	106	59	18	4	8	4			200
	人数		1	141	131	49	7	14	8			351
H27	世帯数		1	85	60	17	3	7	5			178
	人数		1	103	151	42	3	14	12			326
H28	世帯数		1	51	41	10	7	7	2			119
	人数		1	64	69	28	13	10	3			188
H29	世帯数	7	1	170	99	38	33	21	0	1	1	371
	人数	7	1	197	152	53	47	28	0	1	1	487
H30	世帯数	4	1	122	59	27	14	11	3	0	0	241
	人数	5	1	143	91	41	17	14	5	0	0	317
合計	世帯数	11	11	686	515	186	124	140	29	1	1	1,704
	人数	12	14	899	1,083	388	216	258	49	1	1	2,921

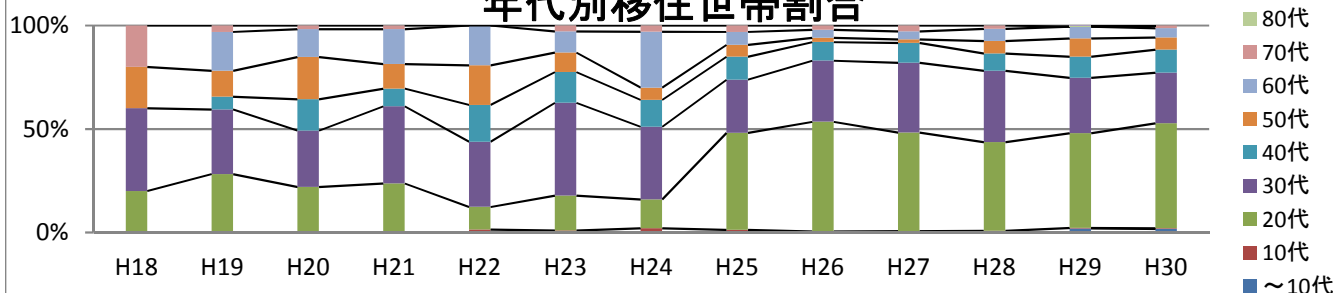
世帯割合 0.6% 0.6% 40.3% 30.2% 10.9% 7.3% 8.2% 1.7% 0.1% 0.1%



年代別移住世帯

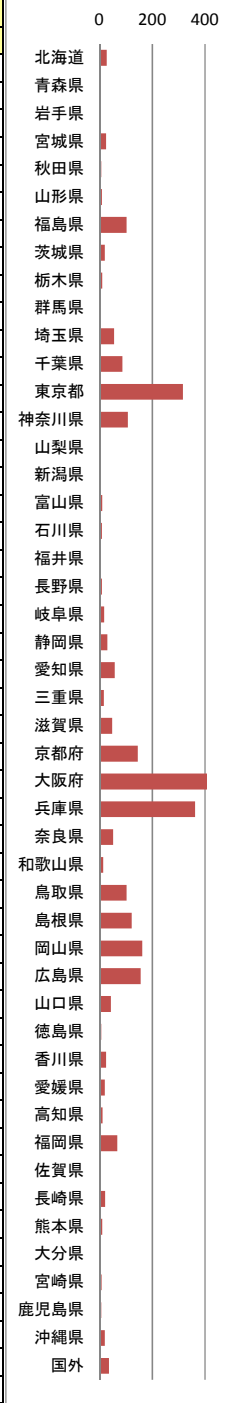


年代別移住世帯割合



	合計		H18		H19		H20		H21		H22		H23		H24		H25		H26		H27		H28		H29		H30		
	世帯数	人数	世帯数	人数	世帯数	人数	世帯数	人数	世帯数	人数	世帯数	人数	世帯数	人数	世帯数	人数	世帯数	人数	世帯数	人数	世帯数	人数	世帯数	人数	世帯数	人数	世帯数	人数	
都道府県																													
北海道	14	28	1	1	1	1					1	4	1	3	1	3			2	4			1	1	1	2	5	9	
青森県	1	1																					0	0	1	1	0	0	
岩手県	1	1																					1	1	0	0	0	0	
宮城県	12	25					2	5	2	3	1	6	3	3					1	1			1	1	0	0	2	6	
秋田県	2	7													1	2	1	5					0	0	0	0	0	0	
山形県	5	9					1	1							1	3			1	1	1	3	0	0	1	1	0	0	
福島県	51	102											30	70	13	21	4	7			1	1	0	0	3	3	0	0	
茨城県	11	20					1	3			1	4	2	6					1	1			1	1	3	3	2	2	
栃木県	6	11											2	5							1	3	1	1	1	1	1	1	
群馬県	4	5																			1	1	2	2	1	2	0	0	
埼玉県	33	55					1	1			2	2	3	9	4	8	4	8	4	9	2	2	2	2	4	7	7	4	5
千葉県	47	87	1	2					1	1			10	22	5	12	2	6	5	12	6	11	5	6	8	9	4	6	
東京都	193	316					1	2	7	8	7	11	10	21	13	26	19	32	32	65	22	42	13	19	43	57	26	33	
神奈川県	60	107			3	6	2	5	3	10	2	6	2	5	2	4	5	8	5	8	8	16	5	7	13	19	10	13	
山梨県	2	2																	1	1	1	1	0	0	0	0	0	0	
新潟県	3	3																					0	0	1	1	2	2	
富山県	5	11					1	2	1	4							1	1					2	4	0	0	0	0	
石川県	6	9																	1	1	1	1	0	0	2	4	2	3	
福井県	2	2																					0	0	2	2	0	0	
長野県	5	9			1	3			1	2												1	1	0	0	1	1	1	2
岐阜県	9	18	1	2							1	1						1	1	3	3	2	10	0	0	1	1	0	0
静岡県	17	29			1	2	1	4	1	2			2	4	2	2	3	4	3	3			0	0	2	6	2	2	
愛知県	36	58			1	2	1	2	1	4	3	6	2	5	2	4	1	1	6	6	4	10	0	0	7	10	8	8	
三重県	10	17					1	1						2	7	1	3				1	1	2	2	2	2	1	1	
滋賀県	29	49					1	2	3	5			1	2	4	5	3	4	6	17	2	5	1	1	2	2	6	6	
京都府	94	145			2	4	1	1	5	13	9	19	3	8	2	4	7	7	10	15	9	15	12	22	20	22	14	15	
大阪府	296	535	1	1	7	17	12	25	9	22	8	22	14	28	18	30	38	83	34	62	41	70	23	40	57	83	34	52	
兵庫県	224	362	1	1	6	12	8	17	6	10	13	29	4	11	12	35	24	36	30	45	21	37	13	25	53	65	33	39	
奈良県	29	52					2	5	1	1	1	1	2	5				3	4	2	6	2	5	5	8	7	10	4	7
和歌山県	13	14					3	4															1	1	6	6	3	3	
鳥取県	57	103			3	7	8	26	3	7	2	2	1	3	3	9	6	9	7	11	6	8	3	3	9	11	6	7	
島根県	64	122					1	5	2	4	7	17	1	2	4	7	5	11	8	17	5	11	2	8	12	14	17	26	
岡山県	109	163					1	1	2	5	6	13	4	7	1	1	7	11	11	14	11	20	4	5	38	57	24	29	
広島県	82	156			2	6	2	5	6	23	5	17	1	1	7	23	8	15	7	10	11	18	5	5	19	22	9	11	
山口県	25	43			1	3	1	1	1	4			1	2	2	6	3	4	3	4	5	9	1	2	6	7	1	1	
徳島県	6	7									1	1											1	1	3	3	1	2	
香川県	17	25					1	4					1	2				2	5	1	1		2	3	7	7	3	3	
愛媛県	12	20			1	2	1	1					1	1				1	1	3	8		1	2	3	4	1	1	
高知県	8	12					1	3					1	2						3	3	0	0	1	2	2	2	2	
福岡県	37	67			1	1	2	5	1	1	1	1	4	9	1	2	4	12	8	11	2	6	1	3	9	13	3	3	
佐賀県	4	4							1	1								2	2				0	0	1	1	0	0	
長崎県	15	22			1	1					1	1						1	1	3	7	1	1	2	2	5	6	1	3
熊本県	7	11																					3	5	2	4	2	2	
大分県	6	6															1	1					1	1	4	4	0	0	
宮崎県	4	8			1	4																	1	1	2	3	0	0	
鹿児島県	6	7					1	2					1	1								2	2	0	0	0	0	2	2
沖縄県	8	20																		2	8	1	1	1	1	1	4	3	6
国外	17	36					1	3	2	3	1	3					3	6				4	12	0	0	4	5	2	4
合計	1,704	2,921	5	7	32	71	59	136	59	133	73	166	107	237	100	214	160	288	200	351	178	326	119	188	371	487	241	317	

出身地別移住人数



地方	合計 / 世帯数	合計 / 人数
北海道	14	28
関東	353	600
近畿	695	1174
九州	87	145
国外	17	36
四国	43	64
中国	337	587
中部	85	141
東北	72	145
総計	1703	2920